

第5学年2組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成27年11月18日(水) 5校時 5年2組教室

2. 議題 「5年2組 おかわり集会をしよう」

3. 議題について

学級目標 お：思いやりのある子 か：考えて行動する子 わ：笑顔を大切にする子 り：リーダーとして頑張る子

(1) 児童の実態 20名

学級全体で1つの事に取り組むことが好きな児童が多く、自分たちで学級を楽しくしていこうという意識が高い。係活動に意欲的に取り組んでいて、朝の会や帰りの会での係からの発表も充実している。帰りの会では、「今日のキラッとさん」として授業や生活においてクラスのために貢献していた児童を紹介し合う時間を設けている。友だちのよいところを認め合う雰囲気は少しずつ高まっている。子どもたちのよさを生かすとともに、高学年として必要な自主的に判断し行動する力をさらに伸ばしていきたいと考え、学級目標は「思いやりのある子 考えて行動する子 笑顔を大切にする子 リーダーとして頑張る子」とした。

学級会については、前期に5回、後期に1回、取り組んできた。昨年度までの経験をもとに、話し合いの流れを理解し、司会グループを中心に進めることが身に付いている。めあてを意識しながら発言をする児童が多いため、話し合いがめあてから大きく逸れることは少ない。意見をまとめていく時に、アイデアを出したり、相手の意見に合わせたりして、折り合いをつけて決定しようとする姿が見られる。話し合い活動では積極的に自分の思いを伝えようとする児童が多くいる一方、全体で発言することを苦手と感じている児童もいる。

第2回の学級会では、男女の仲をさらによくして運動会を迎えたいと、「5年2組フレンズ集会」が提案された。何をするか、自分の考えをアイデアシートに書く時には、体を動かす遊びを考える児童が多かった。しかし、ある児童が腕を骨折したことをきっかけに、話し合いではその児童のことも考えた上で、じゃんけん大会をすることに意見がまとまり、決定した。「体を動かす遊びは〇〇さんの骨折が治ってからやろう」と、相手を思いやって発言する姿が見られた。

第3回の学級会では、運動会での一人一人の頑張りを認め合いたいと、「5年2組ピカッと集会」が提案された。どのような方法で認め合うかという柱で話し合い、賞状を一人一人に書いて渡すという意見に決定した。集会当日は、自分がよく見ていた子に賞状を渡し、周りの児童はクラッカーやトロフィー、拍手で盛り上げるという形となった。今までとは違い、遊びや出し物はない集会となったが、子どもたちはとても充実感にあふれ、以降の学習や行事への取り組み方が意欲的になったと感じている。

(2) 議題選定の理由

今回は、「5年2組 おかわり集会をしよう」について話し合う。議題ポストには、毎週のように様々な内容の集会がしたいと提案カードが入っている。提案カードを書いた児童に話を詳しく聞くとどの児童も学級目標に近づきたいという思いをもっていることが分かった。学級目標の頭文字である「おかわり」は学習や生活、様々な場面で児童が意識できるよう伝えてきた。そのため児童は、係活

動や学級活動などがすべて学級目標につながっていることをよく理解している。

今回は学級目標をめあてに据えた集会をすることだけを伝え、どのような内容にするかを集団決定していくことで児童の集会に対する期待感を高めていきたいと考えている。児童は今までの豊富な経験から集会に対する様々なアイディアをもっている。その豊富な経験をいかして、より学級目標に近づくためにはどのような集会にしたらいかという視点で思いを伝え合い、集団決定してほしいと考えている。

4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級や学校の生活の充実と向上にかかわる問題に関心を持ち、他の児童と協力して自主的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために話し合い、自己の役割や責任、集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの意義や、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効率的な進め方などについて理解している。

5. テーマとのかかわり

テーマ： 夢や希望をもち、よりよい人間関係を築く特別活動

サブテーマ： ～期待感がふくらむ学級会をめざして～



高学年の目指す子ども像：

他者の考え方を受け止め、お互いのよさを理解し合い、高め合える行動がとれる子

教師の思い

本学級の児童は、前述した通り、昨年度までの経験をもとに学級会の流れを理解し、司会グループを中心に進めることができている。しかし、時に学級会がスムーズに進みすぎることによって、児童の思いが感じられない学級会になってしまうことがある。高学年の目指す子ども像にもあるように、お互いのよさを理解し合うことを意識し、児童の思いがあふれる学級会にしてほしいと考えている。安易な合体意見、吸収意見などでそれぞれの意見のよさが消えてしまうことがないように、よく思いを伝え合って話し合いを進めてほしい。

今回の話し合いは、「集める・比べる・まとめる」の比べる段階から行う。事前に計画委員で意見をまとめておき、比べる段階でお互いの意見のよさを理解し合い、集団決定の過程により時間をかけてほしいと考えている。

5. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動の内容	評価（☆）と支援（○）
11月9日（月） 中休み	計画委員会を開く。 ・ 議題を選定する。 ・ 話合いのめあてを決める。 ・ クラスに伝える内容を確認する。	☆学級生活の向上を考えて議題を選定し、 クラスに伝える内容を整理しようとして いる。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度) <活動の様子・計画委員会カード>
11月10日（火） 特活タイム	議題、話合いのめあてを全体に伝 える。(計画委員)	☆決定した議題や、めあてを分かりやすく 伝えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践) <活動の様子>
11月11日（水） 中休み	計画委員会を開く。 ・ 学級会での役割を確認する。	○司会、記録などの役割を確認し、話合い の流れをイメージできるようにしてい く。
11月13日（金） 特活タイム	「学級会アイデアシート」に柱 についての自分の考えを書く。	○話合いのめあてを確認し、めあてにそつ たアイデアを書けるように助言する。 ☆話合いのめあてにそつた意見を考えよう としている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度) <活動の様子・アイデアシート>
11月16日（月） 中休み	計画委員会を開く。 ・ 集めたアイデアシートを参考 に学級会の進め方、方向性につ いて確認する。	☆学級会であがりそうな意見について確認 し、台本をもとに進行の練習をしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践) <活動の様子>

(2) 本時の活動

- ①ねらい 学級目標に近づくという視点で集会の内容を考えている。
- ②本時の視点 実践にむけて、期待感をもって話合いに臨んでいたか。
- ③児童の活動計画（計画委員会カード） 別紙（当日）
- ④教師の指導計画

児童の活動	評価（☆）と支援（○）
<p>1. はじめの言葉（指名司会）</p> <p>2. 司会グループの紹介</p> <p>3. 議題、提案理由、話合いのめあての確認</p> <p>議題「5年2組 おかわり集会をしよう」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>提案理由</p> <p>ぼくたちは今まで、遊びや出し物、季節に合ったものや認め合い集会など色々な形の集会を経験してきました。最近も議題ポストにはいろいろな集会がしたいという提案が入っています。そこでみんなに考えてほしいのは何のために集会をするのかです。ぼくたちはみんなで考えた学級目標に近づくために色々な活動をしています。集会もそうです。学級目標に近づくために集会をしてクラスをよりよくしていきたいと思いました。</p> </div> <p>めあて「学級目標のおかわりに近づけるような集会の内容を考えよう」</p> <p>4. 決まっていることの確認</p> <p>5. 話合い</p> <p>柱1 どのような集会にするか決めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ①意見は事前に集め、黒板に貼っておく ②比べる 聞き合う ③まとめる <p>柱2 どのように進めるか決めよう</p> <p>（柱3）役割分担</p> <p>6. 決まったことの確認（ノート記録）</p> <p>7. ふり返り</p> <p>8. 先生の話</p> <p>9. おわりの言葉（指名司会）</p>	<p>○はじめの言葉、おわりの言葉は指名司会が担当することで、活躍の場が指名だけにならないよう配慮する。</p> <p>☆司会グループとして、自分の役割を果たしている。</p> <p>（集団の一員としての思考・判断・実践）</p> <p><活動の様子></p> <p>○提案理由をわかりやすくまた、児童の話し合おうとする意欲がわくように事前指導しておく。</p> <p>○決まっていることは提示しておく。</p> <p>○話合いがめあてからそれた時には助言をする。</p> <p>○時間の意識をもたせるために、時間の目安を提示しておく。</p> <p>☆友だちの思いを考えて意見を聞き、めあてにそった意見を考え発言している。</p> <p>（集団の一員としての思考・判断・実践）</p> <p><観察></p> <p>○話合いのよかった点や、話合いを終えての今の気持ち、集会へ向けての抱負を発言するように伝える。</p> <p>○話合いにおける子どもたちのよさや課題をできるだけ具体的に伝え、次の話合いにつながるようにする。</p>

⑤板書計画

2:10

1:55

<p>おわりの言葉</p> <p>先生の話</p> <p>ふり返り</p> <p>決まったことの確認</p>	<p>柱②どのように進めるか</p> <p>柱①どのような集会にするか決めよう</p> <p>話し合い</p> <p>遊び</p> <p>出し物</p> <p>歌</p> <p>今までをふり返る</p> <p>認め合い</p>	<p>第七回 五年二組学級会</p> <p>はじめの言葉</p> <p>司会グループの紹介</p> <p>議題</p> <p>「五年二組 おかわり集会をしよう」</p> <p>提案理由</p> <p>・集会をすることで学級目標に近づきたい</p> <p>話し合いのめあて</p> <p>・学級目標に近づけるような内容の集会にしよう</p>
--	---	---

は時日 十七日
教室

(3) 事後の指導

活動の場	活動内容	評価 (☆) と支援 (○)
11月19日(木) ～	グループや各役割で集会の準備を進める。	○必要に応じて助言をしたり、必要なものを準備したりする。 ☆協力し合って、集会の準備をしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践) <活動の様子>
11月27日(金) 5校時	「5年2組 おかわり集会」をする。 活動のふり返りをする。	○めあてを意識しながら取り組めるように声をかける。 ☆協力し合って集会に取り組んでいる。 (集団の一員としての思考・判断・実践) <活動の様子> ○学級会から集会までの取り組みや、次のようなことをしたいかなどを中心に発表するように促す。 ☆活動に対する自分の取り組みや学級の取り組みの様子をふり返り、次に生かそうとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度) <発言・ふり返りカード>